

地域イノベーション創出2008inやまぐち

～産学官連携・産業クラスター推進シンポジウム～

開催結果概要

平成20年8月1日
中国経済産業局

中国地域における産学官連携活動と産業クラスター計画を更に加速させるため、「中国地域産学官コラボレーション会議」¹の参加機関や「中国地域産業クラスターフォーラム」²の関係者等約500名が一堂に集いシンポジウムを開催し、参加企業、研究者、支援機関等から地域イノベーションの創出に向けた提案や活発な意見交換がなされました。

このシンポジウムは平成14年以降中国5県持ち回りで毎年開催しているものです。

【日時】平成20年7月17日(木)13:00～19:00 / 18日(金)9:30～12:50

【場所】海峡メッセ下関(山口県下関市)

【参加者数】約500名(産185・学164・官152・他)

基調講演

<p><1日目> 「ロボットで会社も市場も変わった」 株安川電機 取締役社長 利島 康司 氏</p>	<p><2日目> 「『ものづくり』からみた産学協同への提言」 日立金属(株)元社長・会長 松野 浩二 氏</p>
--	--



<会場風景>



<上段：利島氏>

<下段：松野氏>

事例発表

産業クラスター計画の進捗状況

中国経済産業局 地域経済部長 湯浅 憲義

農商工連携施策の展開について

中国経済産業局 総務企画部 参事官(中小企業新事業担当) 村重 孝広

各県の産学官連携・クラスターによる主要プロジェクトの進捗状況

(財)鳥取県産業振興機構	理事長	金田 昭
(財)しまね産業振興財団	副理事長	富田 幹彦
(財)岡山県産業振興財団	理事長	青井 賢平
(財)ひろしま産業振興機構	副理事長	藤井 秀幸
(財)やまぐち産業振興財団	副理事長	上符 正顕

1：中国地域の産学官連携を推進するために結成された協働会議で、産学官関係74機関で組織

2：企業や大学等の研究者・専門家等の参加によるプロジェクト推進に向けたネットワーク組織

研究交流会（5会場にて並行開催）

産業クラスター計画のメインプロジェクトを中心に5つのテーマを設け同時並行でパネルディスカッション等による議論を行いました。

自動車研究交流会

テーマ：「自動車関連産業の競争力強化」

自動車関連企業の今後のイノベーションのキーとなる「カーエレクトロニクス化」に視点をあて、九州地域をも含めた自動車関連企業等のネットワーク形成について意見交換等により考察。

<ポイント>

- 中国・九州両地域はポテンシャルがある地域。産学官連携による智恵出しが地域活性化につながる。
- 企業自身の体力強化も必要。中国・九州両地域の強みの技術を持ち寄って連携することが大事。
- 競争も必要だが協調も大切で、人材育成等うまく連携して取り組めば効率的。

F P D研究交流会

テーマ：「これからのF P D分野の市場と技術開発の動向」

長年、F P D分野の技術開発に携わってきた専門家による、今後のF P D市場の展望と技術開発の動向についてのパネルディスカッションを実施。

<ポイント>

- F P Dを取り巻く事業環境は、韓国メーカーの旺盛な設備投資、台湾メーカーの技術力の伸張、中国メーカーの勃興などで、一層厳しさが増加。
- 中国地域にはF P D分野の企業集積があり、高い技術力を武器に世界を市場として事業展開。企業のネットワーク形成や産学官連携により、企業の競争力を強化し、地域全体のポテンシャルを高度化。

環境研究交流会

テーマ：「水素技術の新たな展開」

家庭用燃料電池の本格普及に向けた「福岡水素戦略」について専門家の講演により紹介。さらに山口県から、「水素タウンモデル事業」の成果報告を行い、水素技術の活用等について意見交換。

<ポイント>

- 「西日本水素社会形成イニシアティブ(中国経済産業局提言)」を推進していくには、山口県、福岡県等が地域間連携を図りながら研究会活動やプロジェクトの実施に取り組んでいくことが必要。
- 日本で唯一、純水素を直接家庭に供給している山口県の水素タウンモデル事業は、安全かつ安定的に水素供給を達成したとの報告があり、水素社会形成実現に向け高い期待感。

知財研究交流会

テーマ：「戦略的知的財産の活用促進」

知的財産活用の専門家による先進事例紹介や知的財産の供給側と活用側相互の問題点等を検証し、その解消に向けた意見交換を来場者を交えて実施。

<ポイント>

- 知財活用・実用化を実現するためには、大学と企業が互いに積極的に働きかけ、双方にとって将来的に発展性をもたせることが重要との認識。
- 産学共同研究で成果をあげるには、研究者の熱意・継続性、及びコーディネータの目利き（技術に対する感性）が重要との認識。

地域イノベーション創出研究交流会

テーマ：「山口県の産学公連携」

産学公連携の事例発表を行い、今後の展開や事業化に向けた課題等について意見交換を実施。地域イノベーション創出に向けた新たな産学公連携の取り組みへの機運醸成と合意を形成。

<ポイント>

- 企業の事業化の支援をとおして、地域イノベーション創出を目指すには、コーディネータの情報交換、資質向上が必要。
- (財)やまぐち産業振興財団提案の「事業化支援・連携コーディネート会議（仮称）」の設置について賛同。



【登壇者】(自動車研究交流会)

時津 直樹(インターネット ITS 協議会 事務局長(元株式会社デンソー 理事))
和田 憲一郎(三菱自動車工業㈱ 開発本部 MiEV商品開発プロジェクト
プロジェクトマネージャー)
吉川 実((財)北九州産業学術推進機構 カー・エレクトロニクスセンター長)
岩城 富士大((財)ひろしま産業振興機構
カーエレクトロニクス推進センター長)
清田 憲一((社)中国地域ニュービジネス協議会 クラスターマネージャー)



【登壇者】(FPD研究交流会)

増田 淳三(アイサプライ・ジャパン㈱ ディレクター)
北原 洋明(テック・アンド・ビズ㈱ 代表取締役)
名雪 稔 (㈱ピックス 代表取締役、(財)ちゅうごく産業創造センター
コーディネーター)



【登壇者】(環境研究交流会)

伊東 洋三(東芝燃料電池システム㈱ 企画管理部 経営企画担当部長)
田代 裕靖(福岡県商工部新産業・技術振興課 企画主幹)
洲村 弘志(山口県環境生活部環境政策課 主任)
前 英雄(山口県産業技術センター 材料技術部 専門研究員)
山田 隆裕(山口県産業技術センター 所長)



【登壇者】(知財研究交流会)

伊藤 伸 (農工大ティー・エル・オー㈱ 代表取締役社長)
曾良 達生(岡山大学 副学長)
高田 忠彦(広島大学 産学連携副センター長 客員教授)
三木 俊克(山口大学 学術研究担当副学長)
久保 元伸(山口大学大学院技術経営研究科(MOT) 教授)



【登壇者】(地域イノベーション創出研究交流会)

原 隆(徳山工業高等専門学校テクノ・リフレッシュ教育センター長 教授)
中野 陽一(宇部工業高等専門学校 准教授)
太田 博光(水産大学校 講師)
磯部 佳成(山口県産業技術センター 専門研究員)
堀 憲次(山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構副機構長 教授)
堀井 淳(㈱ニシエフ 代表取締役社長)
曳野 潔(山口県 商工労働部 新産業振興課長)
上符 正顕((財)やまぐち産業振興財団 副理事長)

中国地域産学官連携功労者表彰

産学官連携活動において先導的な取り組みを行うなど、多大な成果を収め、他の模範となるような事例を選考のうえ、「中国地域産学官連携功労者」としてシンポジウムの場において表彰し、その功績を称えました。

共同研究・技術移転功労賞（8事例・21名）	大学発ベンチャー功労賞（1事例・3名）
コーディネーター功労賞（4事例・4名）	地域連携基盤整備功労賞（2事例・3名）



第8回中国地域産学官コラボレーション会議

中国地域産学官連携アクションプラン（5カ年計画）の中間見直し案について、参加74機関の承認を得るとともに、引き続き産学官連携に積極的に取り組んでいくことを確認しました。



<同時開催> 中国地域クラスター合同成果発表会（パネル展示）

中国地域における知的クラスター・産業クラスターの事業実施状況について、パネル・成果品の展示等を行い、事業成果の発表を行いました。

